

山行記録

山名：段ヶ峰（兵庫県朝来市） だるがみね 標高：1103m

日時： 2020年2月6日（土）

参加者：M川 Y尾 H川 T部 他1

コースタイム：

自宅（生駒）6:00 → 木津6:20 → 赤松PA7:10（合流）

生野高原登山口（8:50）→達磨ヶ峰（9:40/10:00）→フトウガ峰（11:16）→段ヶ峰（11:50/12:30）→フトウガ峰（13:10/13:15）→達磨ヶ峰（14:30/14:40）登山口（15:10）

山行報告

雪を求めての段ヶ峰山行計画。

スパッツ、アイゼン、ピッケル或いはストック持参との連絡あり。山行前に山の状態をネットで検索。2021年2月3日、頂上付近に雪が残る。ワカンで登ってきた、との投稿者の声。動画を見た。登山口から全く雪なし。軽登山靴で歩けるかも。

駐車場に到着。雪なしのスタートだった。しかし、山頂には意外と雪が残っているかもしれない、と多少期待しながら登る。

途中すでに花粉袋(?)が大きくはじけんばかりに膨らんだ木が目に入った。もう時間の問題だ。花粉症には大変つらい時機到来と感じた。



達磨ヶ峰

巨岩が目飛び込んできた。一枚岩ではない。薄い長方形、縦長の岩が何重にもくっつきあってできた岩のようだ。ここが展望台かと勝手に思い上ってみた。真っ青な空、ずーと遠くまで見渡せる草原、別世界に来たような感じがした。我々5人だけでは



もったいないな—この景色、と誰かが言った。岩には

名前はない。

往路では山頂近くで下山してくる登山者1人とすれ違っただけだった。



山頂には、申し訳ない程度の雪しか残っていなかった。

風もなく、暖かい日差しの中で、昼食を食べ、周りの景色に見とれた。ずっと遠い北の山々は雪で覆われ、晴天の下、素晴らしい景色を堪能することができた。

下山。フトウガ峰辺りで、3組4人の登山者とすれ違った。こんな時間にピークを目指して登ってくる人達って、おそらく地元の方々だろう。

残っていた山頂付近の雪景色を伝えたくって、写真を撮った。雪のない、風のない、



いつまでも続く晴天の中、気持ちよく下山した。

吉川温泉郷に立ち寄り、帰宅の途に着いた。